

食品アレルギーについて

Carol Little 、 2006年3月

私にとって下記のもは、食べたり、触ったり、臭いをかぐだけでも危険な食品です。

* ピーナッツ (Sara Littleも強いアレルギーがあります)

* 海や海の近辺で生産されるもの

魚・魚製品・貝・カニ・えび・海藻類(寒天、食用の紅藻)・こんぶ・ひじき など

* ゼラチン

Carol Little の食品アレルギー

Carol Little は、何年も前からアレルギーによって、苦しんでいました。彼女の子供のJoshとSaraも同様な影響を受けやすいです。食品の中には命をおびやかす程危険なものもあります。

Carolが食べられない物に関する情報をお知らせします。

<危険な物質>

ピーナッツ（臭いを嗅ぐだけでも危険です。Sara Littleも同様です）

かに、えび、貝類、海藻、かんてん、藻類、ひじき、こんぶ、ゼラチン

ターメリック(カレーなどにも入ってます)、チョコレート

ナトリウムエステル(炭酸飲料、フルーツドリンク、パイの具などに保存料として使用)

コデイン(鎮痛・睡眠剤)、ペニシリン、エフェドリン(喘息の薬)

<どんな物に含まれるか> *品質表示のラベルを見るとわかります。

食品・・・ ドレッシング、ソース、調味料、フレーバー、お菓子、ジャム、ゼリー、

キャンディー、肉などの缶詰、乳・乳製品、パン、ケーキなど

ローション

<症状>

肌・・・ かゆみ、発疹、じんましん、アトピー性皮膚炎、顔が腫れる

胃腸・・・ かゆみ、膨れる(腹部、唇、舌)、吐き気、けいれん、腹痛、嘔吐、下痢

呼吸器関係・・・ 涙目、目がかゆくなる、鼻水、鼻詰まり、くしゃみ、から咳、胸が締め付けられる、息切れ、息がぜいぜいなる、のどがかすれる、のどがかゆくなったりしめつけられる

* 手当てをしないと呼吸が止まる恐れがあります。

心臓血管・・・ 急に血圧が下がる、脈拍が正常でなくなり速くなる(10秒/20回以上)

激しい発作に襲われて、意識がなくなり死亡に至る場合もあります。

<Carolが気をつけていること>

食品アレルギーに関しての、治療法はありません。

常にラベルを読み、臭いを嗅がない、触らない、摂取しないよう気をつけています。

<もし具合が悪くなった時の対処法>

1. 冷静にする。
2. Benadryl Liquid を子供は小さじ1/4、Carolは小さじ1/2飲ませる。
3. のどが腫れて、声の質が変わったり、呼吸が変になってないか気をつける。
4. 薬で、効果が無い場合はただちに救急病院に行く。
5. Carolはいつも彼女の主治医 (Dr. ^{Ricketts} Hirschfield) の電話番号のかいてある
ブレスレットをはめています。先生に電話して、指示を仰いでください。

<Carolが食べられるいくつかの安全な食品>

- もし何か心配があったら、Carolに質問してください -

Better Eggs by Morning Star

Aunt Millie's Wheat Bread

Wonder bread

Country Crock butter

One percent milk

Thank You brand pie filling

Carnation Lite Evaporated skimmed milk

Kraft Macaroni and Cheese box mix

Breakstone's Regular sour cream

Kraft Miracle whip, REGULAR only